

# 図書館だより

ノートルダム学院小学校

## 春はもうすぐ、でもまだ寒い

2018.2.1 (木)

No.10



2018年の立春は、**2月4日**です。

立春ってなに？

立春とは二十四節気の1つで季節をあらわす

言葉です。旧暦では立春は新年の始まりをさし、

正月のようなものでした。ですから新春とか

迎春とかいう言葉が使われるのです。立春の早朝に禅寺では厄除けの

為、立春大吉というお札を貼ります。これは厄を遠ざけるという意味が

あり、一年間平穏無事に過ごせるように願いをかけておこなう行事だそう

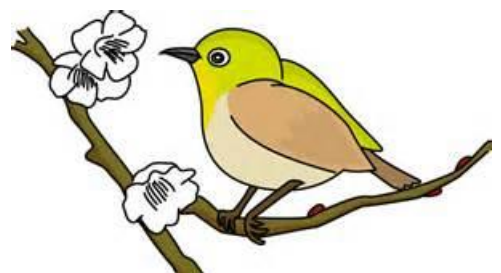
です。また、奈良県の東大寺では、お水取りという行事などがおこなわれ

ており、季節を表すイベントとして参拝客が多く訪れ賑わいます。

暦の上では冬が終わり春を告げるといわ

れており、いよいよ春が近づいてきますよと

いった意味があるのでしょうかね。



## 5・6年間で心に残った本

久里山 拓己

『ヒックとドラゴン』シリーズ  
ヒックがドラゴンとの出会いで勇気も  
もらい、いろいろな事にいどんでいく。自分  
も勇気ももらえた。

田原 詩子

『わが家は祇園の拝み屋さん』  
不思議な力をもっている小春が京都  
でいろいろなふしぎなできごとにか  
かわるところがおもしろい。

藤田 るり

『銭天堂』  
内容や人物関係が不思議すぎて  
おもしろい。食べてみたいお菓  
子がぞくぞくと見つかった。

卯野 雄一

『容疑者Xの献身』  
話に自分がのみこまれて  
その本の世界に居るよう  
な気持ちになれた。

土肥 怜馬

『深夜特急』  
世界各国を旅し、その土地の食  
べ物・乗り物・通貨などが詳し  
くわかっておもしろい。  
あの藤井四段も最近読んで 2  
番目に好きな本らしい。

深谷 桃圭

『言葉屋』シリーズ  
主人公の詠子が言珠や言箱をつく  
る修行をしていく物語で、いろい  
ろな事がおこり、おもしろい。

草場 美月

『ビルマの豎琴』  
主人公の水島と仲間たちが必死に生き延び  
るために戦っているところが心に残った。戦  
争が終わっても亡くなった同志たちのため  
にビルマに残った水島に感動した。

黒崎 眞生

『怪人二十面相』  
二十面相と明智や小林の白熱した戦いに  
たいへん刺激をうけた。

山口 菜

『星の王子様』  
大切なものは目に見えないということば  
が心に残った。

吉田 和季

『伊豆の踊子』  
最後のところで、何も言えずにいる踊  
子と私が別れを惜しむ切なさ、けな  
げさが心に深く残り感動した。

中瀬 令望

『ぼくらの七日間戦争』  
中学生だけで廃工場に立てこもり、仲  
間と助け合うところは団結力があって  
良いなと思った。

